

まじき授業スタンダード(改訂版)

「自立した学習者」の育成をめざして自らの学びをマネジメントする！

家庭での学習 (自学自習)

▶家庭学習は「個別最適な学び」を進める絶好の機会です。子どもが「自分で選ぶ、自分で決める、自分で進める」学びを！

- 「予習」…授業の理解度が増す
まだ学んでいない内容を事前に確認
「問い」を持ち学習に参加
- 「復習」…学んだことを振り返る
自分の苦手なことや課題が明確になる。
- 「探究」…興味関心が深まる
学校で学んだことなどや興味や関心を持った内容について調べていく。

学び方を教える
授業を活かす

学び方を学ぶ
授業を活かす

単元デザインを描こう

- ◎育成を目指す資質・能力を明確にする
□子供の実態を把握する
- ◎単元終末の子供の姿を具体的にイメージする
□めあてを明確にする▶振り返りができる表現であるか
□何が分かっているか、何ができるようになっているか
- ◎単元【全体】を考え、指導（授業）を構想する
□学習内容をどんな順序で指導するか
□各時間で、重点を置いて指導することは
□どのような方法で（UD、合理的配慮等）
- ◎指導と評価の一体化を図る

☆共有場面での教師の働きかけ【例】

(再生)「〇〇さんの考えを説明できますか」
(換言)「〇〇さんの考えを別の言い方でも言えますか」
(要約)「〇〇さんの考えを簡単に言えますか」
(発見)「〇〇さんの考えの良いところはどこですか」
(補助)「〇〇さんのポイントが分かりますか」

☆考えを深めるための問い返し【例】

(事実)「それは、どういうことですか」
(方法)「これは、どのようにして考えたのですか」
(理由)「どうしてそのようになるのですか」

メタ認知能力の高まり

【学習評価】…「指導と評価の一体化」

単元・題材の評価規準を具体化し、内容や時間のまとまりを見通しながら、適切な場面で評価を行う。

「指導と評価の一体化」の観点から、児童生徒の学習改善、教師の指導改善につなげ、評価を見つめ直していくために、指導に生かす評価の機会と記録に残す評価の機会を精選し、位置づけることが大切！

本時の授業



▶授業（50分）を見通したタイムマネジメントを！

導入（5分程度）

▶意欲を引き出すインパクトある出会いを！

- ①教材との出会い→「問い」や「課題」、「思い」を引き出す！

- 具体物の提示（写真や図表、動画、デジタル教科書等の資料）
- 既習事項の振り返り

- ②学習課題の提示・把握→「何を学習するのか」「何ができればよいのか」を明確に！

- 引き出した「問い」や「課題」、「思い」をもとにして、児童生徒の気付きや発言などをつないで焦点化し、学習課題（めあて・課題）を設定していますか？

「～について〇〇しよう」「（なぜ）〇〇だろうか」等

展開（30分程度）

▶「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を！

- ①計画・方向付け・見通し→追究・解決への手がかりが見つけれられるようにする！

- 学習課題と生活経験、既習事項を関連づけて、「何をどのように追究・解決するか」等の計画や見通しを持たせていますか？

【結果の見通し】・答えを予想する。・仮説を立てる。

【方法の見通し】・これまでの学習で使えることはないか。
・どのような順序で行うか。

- ②個での追究・解決→自分の思いや考えを持てるようにする！

- 子どもが「何を、どのように考えているのか」を見取り、個に応じた支援していますか？
→助言・賞賛・励まし、模範例や他の作品の提示など
- 意図的な机間指導をしながら、その後の展開を構想していますか？
→誰の思いや課題を取り上げるのか。どのような順序で取り上げるのか。

- ③ペアやグループ・学級全体での話し合い→思いや考えを広げ深められるようにする！

- 自分の【考え】を持たせ、友達との交流を通して、考えを共有・吟味させていますか？
【話し合い活動は目的ではなく手段であり、身に付けさせたい力を意図して行う】
（目的に応じたグループの編成、活動にふさわしい人数の設定）
- 子どもたちの考えをもとに話し合いをコーディネートし、ねらいに迫っていますか？
→話し合いの論点や議題の明確化。子どもの考えを引き出し、つなげる支援
問い返しやゆさぶりなどの働きかけ。話し合いに全員を参加させる姿勢 など
- つまずきを取り上げる場合には、子どもの思いに共感しながら、適切に支援する。

終末（10分程度）

▶「学び」を深め、
次の『学び』へ向かう力の育成を！

- ①まとめ・振り返り→「何を学習したか」を明確にする！

- 「何を学習したか」をまとめる。本時の「めあて」と「まとめ」はつながっていますか？
→自分の言葉でまとめられるようにする。
学んだ情報や言葉を整理して相手に説明（伝えること）できるように文章化する。
- 「どのように学習してきたか」を振り返る。
→板書やノートをもとにした確認。自己評価や相互評価の活用
- 新たな学びに目を向かわせる。→次時につながる気付きや疑問、学習内容の紹介

【共通実践ポイント】

- ☆机上の統一
- ☆黙想
- ☆めあての提示

【共通実践ポイント】

- ☆挙手は求めない。
（静かな環境）
- ☆計画的・意図的な机間指導

【共通実践ポイント】

- ☆家庭学習へつなげる

教師の活動

出会いを仕かける！

めあてをつかませる！

手がかりをつかませる！

一人で挑戦させる！
学んできたことをフル活用

仲間と追究させる！
考えを比較・検討

交流でさらに深めさせる！
練り合い・発見

自分の言葉でまとめさせる！
分かったことを表現・確認

学びを振り返らせる！
思考の変化、学びの過程の自覚

新たな問いを持たせる！

ICT・タブレットの積極的活用